

鹿屋 豊作と進路決定を願ってドロコ祭り



6月17日、古前城町の鹿屋農業高校実習用水田で、「第6回ドロコ祭り」が開催されました。これは、土と水の恵みに感謝しようと毎年行われているもので、当日は、生徒や教職員など約70人が参加。生徒たちは、全身泥まみれになりながら、かけっこやサッカーなどの競技を楽しみ、最後は全員で校歌を斉唱し、豊作と全員の進路決定を願いました。

鹿屋 映画を鑑賞し決意を新たに



6月29日、市文化会館で、ハンセン病問題啓発映画「新・あつい壁」の上映会が行われました。これは、ハンセン病患者であることで、法の下での平等を踏みにじられた史実をもとに制作された映画で、当日は、市内外から訪れた約300人が鑑賞。観客は、ハンセン病患者に起こった悲劇を受け止め、差別のない社会にしようと決意を新たにしていました。

輝 ハンセン病問題への正しい理解を訴える



6月24日、輝北総合支所で「ハンセン病問題に関する啓発講演会」が開催され、約140人が参加しました。講演会では、星塚敬愛園の有川勲園長が「ハンセン病についての五つの誤解」と題して講演。また、同園自治会の上野正子氏が「偏見・差別のない社会を願って」と題した講演を行い、自らの体験をもとに、ハンセン病問題への正しい理解を訴えました。

鹿屋

榎木孝明さんと一緒にばら園でスケッチ



6月8日、「かのやばら大使」を務める俳優の榎木孝明さんが「かのやばら園」を訪れ、「榎木孝明と描くスケッチ大会」が開催されました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、スケッチ大会には、市内外から親子連れなど約80人が参加。参加者は、榎木さんのアドバイスを受けながら、思い思いに絵を描いていました。また、「絵を描くことは習慣」という榎木さんも、園内を回りながら3枚の絵を描きあげ、参加者と一緒にスケッチを楽しみました。なお、スケッチ大会終了後は表彰式も行われ、榎木さんから賞状が贈られました。受賞者は次のとおり。(敬称略)

- 榎木孝明賞＝三反田直子(笠之原町)
- 鹿屋市長賞＝東元尚子(田淵町)
- 鹿屋市観光協会賞＝山口友賀慧(寿1丁目)
- 鹿屋市物産協会賞＝横山恵愛(寿4丁目)
- 鹿屋商工会議所会頭賞＝中村小百合(高須町)
- 鹿屋市漁協組合長賞＝小倉弘毅(南九州市)
- ローズリングかのや賞＝三反田理央(笠之原町)
- 特別賞＝中辻のぞみ(串良町)、千足みえ(海道町)、横山さとみ(寿4丁目)、西牧知恵(下祓川町)、田辺信子(鹿児島市)

鹿屋 ソフトバレーで22チームが熱戦



6月29日、リナシティかのやフィットネスホールで、「第2回リナシティカップソフトバレー大会レディーズの部」が行われました。当日は、22チーム145人が参加。参加者は、真剣な眼差しで熱戦を繰り広げ、好プレーを見せていました。結果は、次のとおり。
優勝＝紅－KuRenai
準優勝＝つばき
3位＝鹿屋クラブ・F4

吾平町 吾平町麓に見ごろを迎えています



吾平町麓にある「湯遊ランドあいら」近くの吾平桜並木公園で、ひまわりが見ごろを迎えています。公園内の並木道1,300mに植えられた約10万本のひまわりは、6月末から咲き始め、7月末頃まで楽しむことができます。昨年は、台風の影響で開花期に倒れてしまいましたが、今年は、順調に開花を迎え、満開のひまわりが期待できそうです。

鹿屋 牛乳の消費拡大をPR



6月10日、市役所で「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンが行われました。これは、牛乳の消費が低迷している中、父の日に牛乳を飲んでもらおうと全国キャンペーンの一環として行われたもの。大隅酪農青年女性会議のメンバーなど13人が訪れ、「安全で安心な地元の牛乳を、もっと飲んでほしい」と消費拡大をPRしました。

串良 文化の大切さを実感



6月29日、串良公民館別館大ホールで「第25回串良町文化協会発表会」が行われました。これは、大切な文化を後世に残そうと毎年行われているもので、当日は、琴や踊りなどの舞台発表に79人が出演したほか、生け花や絵画などの作品123点の展示発表が行われました。参加者・観客ともに文化の大切さを知る一日となりました。

鹿屋 総勢274人が歌声を披露



6月22日、リナシティかのやホールで、「第2回コーラスフェスティバル」が開催されました。これは、リナシティかのやのオープンを記念して昨年開催しているもので、当日は、小中学校や高校の合唱部、一般のコーラスグループなど市内の13団体274人が参加。参加者は、約500人の観客の前で緊張しながらも、自慢の歌声を存分に披露していました。

鹿屋 収穫を楽しみに田植え体験



6月19日、野里町で、野里小の4・5年生約60人が田植え体験を行いました。これは、農業体験学習を通じて豊かな人間性を育て、食の大切さを実感してもらおうと毎年実施しています。秋には収穫も行う予定で、子どもたちは、一列に並んで田んぼに入り、「今から収穫が楽しみ」などと話しながら、一本一本大切に苗を植えていました。